

ラブホテル

ラブホテルとは、主にカップルの性行為に適した設備を持つ部屋を、短時間(休憩)もしくは宿泊で利用できる施設。業界では露骨な表現を避けるため「ファッションホテル」、「ブティックホテル」とも言う。また一部業界誌では「レジャーホテル」や「リゾートホテル」と表現することもある。一般には、略して「ラブホ」や「デートホテル」、また俗に「Hホテル」などともいう。近年若者の間では検索サイトの名称から「ハッピーホテル」や略して「ハッピーにいこう」という言い方で使われることも多い。日本国や韓国特有のホテルで、法律上の立地規制などから同業のホテルが密集して営業している事が多い。

歴史

起源は、江戸時代の出会茶屋にまで遡る事が出来ると言われる。第2次世界大戦前には「待合」「赤線地帯」がその機能を果たしていた。第2次世界大戦後には「連れ込み宿」(連れ込み旅館)が多く登場し、東京では千駄ヶ谷がメッカであった。1960年代後半から増え始めた回転ベッドを含めた豪華な設備の目黒エンペラー(目黒川沿いに存在し、現在は「ホテル目黒エンペラー」と改名)が1980年代に有名となる。なお、現在はこのような形態でラブホテルを新規開業する事はほぼ不可能なため、ビジネスホテル

で申請し、認可が下りた後に小規模な改装をして営業をしている所
 がほとんどで、これらは風適法にて届け出されている正規のラブホテルと
 分けて偽装ラブホテル(類似ラブホテル)と言われている。そのため外観的に
 一般のホテルと大差ないラブホテルが増えてきている。

かつての、いわゆる連れ込み宿(連れ込み旅館)時代は、女中がお茶を持っ
 てきたが、現在のラブホテルでは受付 - 会計も自動精算機の導入で店員
 と顔を合わせずに出入り出来るようになっていることがほとんど。ただし、
 一時期ラブホテルにおける殺人事件が多発したため、警察の指導により
 防犯ビデオが設置されている事が多い。これは顧客名簿に記入しない事
 に対する代替処置である。18歳未満は入店禁止であるため、18歳以下の
 子連れや家族利用はあり得ない。ラブホテルと思われる施設で子連れや家族
 利用を可としている所は偽装ラブホテルである可能性が高い。

特徴

? ホテルの外観はネオンサインなどで派手にしたものが多く、ロマンチック
 なホテル名が多い。? 予約が出来るラブホテルは少なく、多くのラブホテル
 は建物や駐車場 の入り口付近に部屋の空き状況を示す「満」「空」
 の表示があり、これを見て利用する。? 客が入るところを他人に見られる
 のを防ぐため、建物の入り口付近の照明は暗く、その正面には壁や植木
 などで目隠しされている。

? ロビーに部屋を選ぶ写真パネルがあることが多い(この方式の発祥は「ホテル野猿」)。空いている部屋の写真は点灯して明るくなっており、部屋を決めるボタンを押すと部屋までの誘導サインが点灯し、それに従って入室する。

? フロント周辺は、他の利用者及び従業員と顔を合わせない様に配慮されている場合が多い。

? 人と対面せずに精算ができるように自動精算機が設置されている。

? 全ての部屋が「ダブル」(ダブルベッドが一つ)であり、いわゆる「シングル」(シングル用ベッドが一つ)や「ツイン」(シングル用ベッドが二つ)の部屋はない。「ダブル」の部屋でも、3人で利用できる場合が多いが、その場合追加料金が必要となる事がある。

? 1人でのチェックインは断られることもある。その場合デリバリーヘルスを呼ぶ際は入室前の待ち合わせが必要となる。

? チェックインする時間帯によっては、宿泊せずチェックアウトする事(休憩)が出来る。? 入口に「休憩〇〇円、宿泊〇〇円」と表示された看板がある。金・土曜・祝前日などの休憩は通常1~3時間単位、宿泊は23時~24時以降と遅いのが一般的である。平日昼間は「サービスタイム」「フリータイム」などとして、7~17時、13~20時などと長時間休憩出来る事が多く、宿泊が可能になる時刻は20~22時以降が多い。

また、^{れんきゅう ちゅう}連休 中^{ねんまつねんし} やクリスマス、^{とくべつ りょうきん}年末年始などは特別 料金 となるところが
^{おお}多い。？^{まくらもと}枕元^{さまざま}には様々^{きのう}な機能^{そうさ}の操作パネルが^{せっち}設置されてお^{しょうめい}り、照明 や
 BGM、エアコンなどが^ねベッドに寝ながらコントロールできるようになって
 いる。？^{まくら}コンドームが枕^{こ ようい}もとに1個用意されているところが多い(不足する
^{ばあい}場合、^{ふてきごう}サイズ不適合^{ばあい}の場合は室内^{しつない}の自販機^{じはんき}などで^{こうにゆう}購入 する)。

？^{せんもん}テレビのアダルト専門^{むりよう み}チャンネルを^{いっばん}無料 で見る^{おお}ことができる。(一般^{おお}の
 ホテルでは^{つうじょう ゆうりよう}通常^{へや} 有料)？^{せっち}部屋に設置されている^{おお}ソファの多くは^{おお}ビニール
^ば張りか^ばレザ一^あ張りである。これは^あバスルームから^{さい}上がった際^{しんたい}に、身体 が
^{かんぜん}完全^{かわ}に乾いていない^{じょうたい}状態^{すわ} で^{そうてい}座ることを^{そうてい}想定しているためである。

^{もんだいてん}問題 点

？^{けいえいしゃ また}ホテルの経営者^{りよう しゃ} 又は利用者^{せっち}により^{かく}設置された^{たにん}隠しカメラ^{せいこうい}で他人の性行為の
^{えいぞう}映像^{さくひん}が、^{しじょう}アダルトビデオ作品^{でまわ}となり市場^{しじょう}に出回ることがある。もの
 によっては^{へんしゅう}編集^{ばあい} がなされていない場合^{こじん かん か}もあり、個人間^{こじん}で^{かん}交わされた
^{かいわ}プライベートな^{こじん}会話(つまり^{じょうほう}個人情報^{りゆうしゆつ})^{れい}が流出^{れい}していることがある(例
 として、^{ろじょう とういほう}路上^{はんばい}等 違法販売^{はんばい} されているアダルトビデオなど)。

？^{りょかん ぎょうほう}旅館業法^{しゆくはくしゃ めいぼ} では^{せっち}宿泊者名簿^{ぎむ}の設置^{ぎむ}を義務づけているが、^{ぎむ}ラブホテルでは
^{きにゆう}ほとんど^{ひと}記入^{りようしゆう しょ} する人がいない。また、^{ばあい}領収書^だもほとんどの場合^だ出さない
 ・^{きやく}客^{うけと}も受け取らないため、^{しゆくはくしゃ すう}宿泊者数^{じっさい}を^{しゆくはくしゃ すう}実際の^{すく}宿泊者数^{すく}より少なく
^{ぜいむしょ}税務署^{しんこく}に^{けいえい しゃ}申告^{おお}する^{だつぜい}経営者^{おんしょう}が多く、^い脱税^いの温床^い になっていると言われて

いる。

? ラブホテルの経営^{けいえい}が禁止^{きんし}されている区域^{くいき}において、いわゆる旅館^{りょかん}として
届け出^{とどけで}を行い、あるいは既存^{おこな}の施設^{きそん}や設備^{しせつ}を改修^{せつび}・改築^{かいしゅう}・増築^{かいちく}する等^{ぞうちく}して
、営業^{えいぎょう}する「偽装^{ぎそう}ラブホテル(類似^{るいじ}ラブホテル)」が社会^{しゃかい}問題^{もんだい}となっている

。